

## メルケル首相のお膝元で敗北

発表日：2016年9月5日(月)

～ドイツでも反EU政党の勢いが止まらず～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主席エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

- ◇ メルケル首相の地元で行われた4日のドイツの州議会選挙では、3月の3つの州議会選挙に続き、移民排斥を訴える右派政党「ドイツのための選択肢（AfD）」が大きく躍進した。AfDはメルケル首相の難民危機対応やECBの超低金利政策に対する不満票の受け皿となっている。
- ◇ メルケル首相の難民危機対応を巡っては、姉妹政党や連立パートナーからも批判の声が聞かれる。来年秋の連邦議会選挙で、メルケル首相が率いる「キリスト教民主同盟（CDU）」の優位は今のところ揺るがないが、9月18日のベルリン市議会選挙や来年前半の州議会選挙でも苦戦が続くようだ、党内での首相の求心力が弱まりかねない。
- ◇ メルケル首相は12月のCDU党大会で党首に再任されたうえで、首相候補として四選を目指す意向を伝える方針とみられる。ただ、国民の間には首相の続投に否定的な見方も広がっている。万が一、メルケル首相が出馬を見送れば、ドイツのリーダーシップを巡る不透明感が市場の動揺を誘う恐れがある。

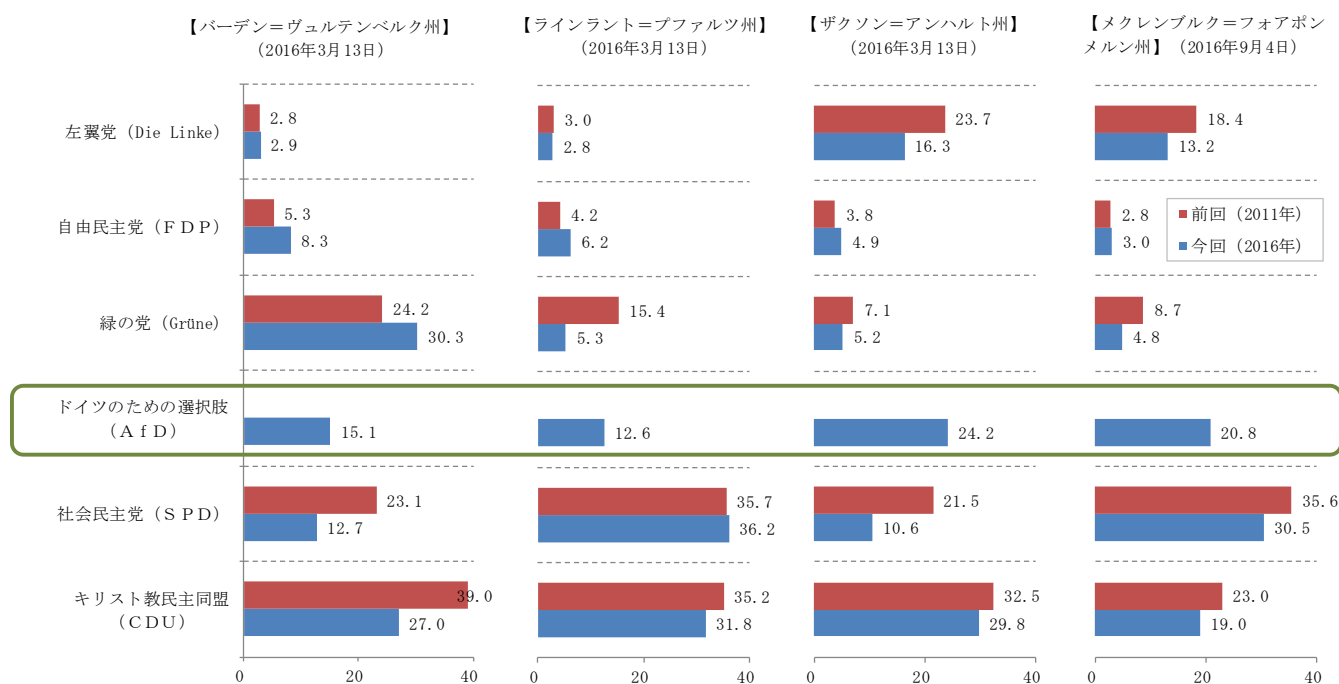
9月4日に行われたドイツのメクレンブルク＝フォアポンメルン州議会選挙では、移民排斥や反イスラムを訴える右派のポピュリスト政党「ドイツのための選択肢（AfD）」が20.8%の票を獲得し、メルケル首相が率いる中道右派の「キリスト教民主同盟（CDU）」の19.0%を上回った（図表1・右端の図、速報段階の数字）。なお、同州はメルケル首相の地元。中道左派の「社会民主党（SPD）」が30.5%と第1党の座を死守し、改選前と同様に、SPDがCDUの協力を得て州議会を率いる可能性が高い。ただ、国政レベルでも連立を組むCDUとSPDの主要2党が揃って前回選挙より支持を落とした。AfDは今年3月に行なわれた3つの州議会選挙でも大きく躍進し（図表1・左から3つの図）、メルケル首相の難民危機対応や欧州中央銀行（ECB）の超低金利政策に対する不満票の受け皿となっている。

難民危機が深刻化した以前に70%前後に達したメルケル首相の支持率は、積極的な難民受け入れに対する世論の風当たりが強まるとともに急降下を続けている（図表2）。7月にはドイツでも難民やイスラム過激思想の持ち主が関与するテロ事件が発生し、8月の最新調査で首相の支持率は47%に一段と低下した。こうしたなか、首相の難民政策を巡っては姉妹政党や連立パートナーの一部からも不満の声が上がっている。CDUの姉妹政党でバイエルン州のみで活動する「キリスト教社会同盟（CSU）」のゼーフォッファー党首（バイエルン州首相）は、難民の受け入れ数に制限を設けることなどを強く要求しているほか（ドイツの東南端に位置するバイエルン州はオーストリアからドイツへの難民の主要な流入ルート）、SPDのガブリエル党首（副首相兼経済・エネルギー相）も最近、メルケル首相の難民政策を批判した。

来年秋の連邦議会選挙でCDUの首相候補として4選を目指すかについてメルケル首相は、然るべき時

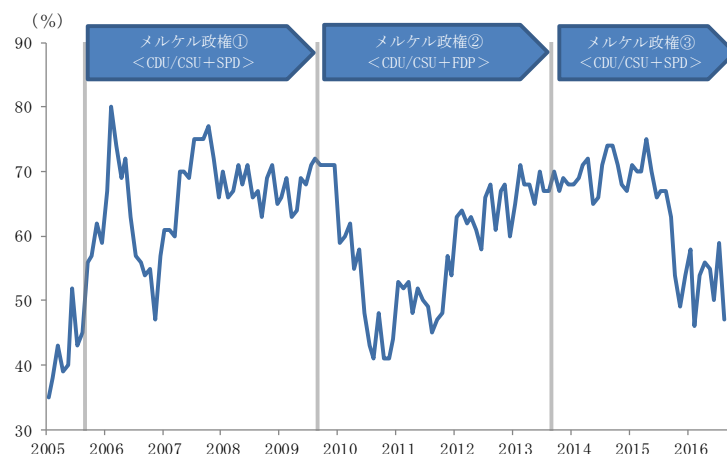
期に発言するとし、まだ出馬の意向を表明していない。難民危機対応への不満を募らせるCSUの支持が得られないため、来春以降に出馬表明を見送るとの見方も一部に浮上していたが、メルケル首相は2日、CDUの次期党首が首相候補になるべきと発言した。12月4～6日のCDU党大会の前後で出馬を表明する可能性が高い。今のところ来年秋の連邦議会選挙でCDUの優位は揺るがないが（図表3）、9月18日のベルリン市（州に相当）議会選挙や、来年3月と5月に予定される3つの州議会選挙の結果次第では、党内でメルケル首相の求心力が弱まりかねない（図表4）。最近の世論調査ではメルケル首相の続投に反対する回答が50%に達している（図表5）。党内に有力な対抗馬はいないとされるが、万が一、メルケル首相が続投を見送れば、ドイツのリーダーシップを巡る不透明感が市場の動揺を誘う恐れがある。

（図表1）ドイツの連邦州議会選挙の政党別獲得票率（%）



出所：各種報道より第一生命経済研究所が作成

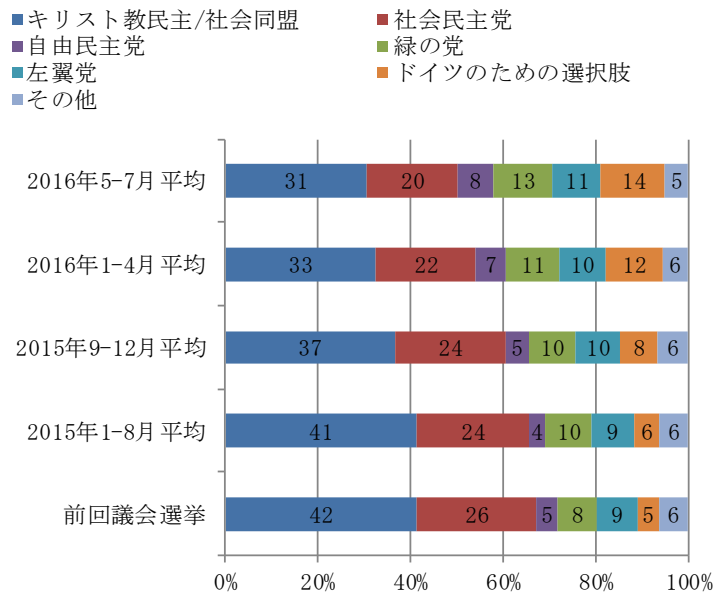
（図表2）メルケル首相の支持率の推移



出所：infratest dimap資料より第一生命経済研究所が作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(図表 3) ドイツの政党別支持率調査の推移



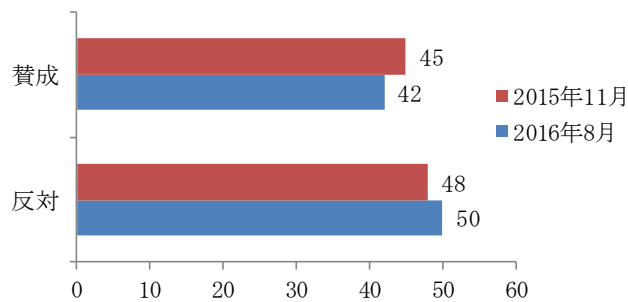
出所：INSA資料より第一生命経済研究所が作成

(図表 4) ドイツの主な政治日程

2016年3月13日	バーデン＝ヴェルテンベルク州議会選挙
3月13日	ラインラント＝プファルツ州議会選挙
3月13日	ザクソン＝アンハルト州議会選挙
9月4日	メクレンブルク＝フォアポンメルン州議会選挙
9月18日	ベルリン市（州）議会選挙
12月4～6日	キリスト教民主同盟（CDU）党大会
2017年2月12日	連邦大統領選挙
3月26日	ザールラント州議会選挙
5月7日	シュレーズヴィヒ＝ホルシュタイン州議会選挙
5月14日	ノルトライン＝ヴェストファーレン州議会選挙
秋	連邦議会選挙

出所：各種報道より第一生命経済研究所が作成

(図表 5) メルケル首相の続投に賛成/反対？



出所：Bild am Sonntag紙より第一生命経済研究所が作成

以上